

松島こずえ

43歳

なかなか届かない
子育て世代の声を
市政に反映！

どの世代も
暮らしやすい
佐倉市に

松島こずえは実現します

子どもの健やかな成長を！

給食は無償化 & オーガニック化を！

- ◆学校給食は佐倉産の有機食材を使用。
- ◆オーガニック給食で材料費が高くなる場合、差額分は市が負担するよう求めます。



←3月18日、
山田正彦元
農水大臣を講師に、
「オーガニック給食と
食の安全」の講演会を開催。
佐倉市での実現にはずみがつきました。



安心できる学校生活を！

学校になじめない小1プロブレム対策

- ◆保育士の資格があるサポートスタッフを
小学1年生のクラスに配置するよう提案します。

決まり事を子どもの立場で見直します

- ◆校則に子どもの意見を反映させ、変えていきます。
- ◆重いランドセルに重い教科書。腰痛になる子ども
が増えています。

➡ 軽くて丈夫なリュック型ランドセルを提案！

先生が
足りない！

千葉県では先生不足が深刻です。
2023年1月時点の教職員未配置は
420人！（全国ワースト）

臨時採用（50歳）の給与比

千葉県	35万8648円
埼玉県	45万8297円
東京都	42万0323円
神奈川県	46万2426円

千葉県で教員が不足する理由

- ◆臨時教員の待遇が劣悪（他県と
比べ年収換算で100万円も少ない）
- ◆正規教員枠を減らして、給与の
低い臨時教員で調整している。
- ◆産休・育休は半年前から分かって
いるのに直前まで対応しない。

子どもたちにしわ寄せがきています。詳細は裏面に



活動は
現場から

ファイバーリサイクル（古着回収）
利益はパキスタンの学校支援に。



上別所の廃プラ不法投棄の現場で。
県議と連携して撤去を進めています。



オーガニック給食を求める署名活動を
各地で実施。



通学路の現地調査（35か所）を行い、
佐倉市と千葉県に危険箇所を連絡し改善。

実は
佐倉市は貧乏じゃない！

何かというと「カネがない」という佐倉市。実は、千葉県54市町村のうち財政力は**14**位。2021年度決算では貯金残高は**51**億円超。県内平均より多いのです。ムダな事業とミスによる損失が多すぎる今の佐倉市を変えましょう。2023年4月の統一地方選挙が**大転換**のチャンスです。

松島こずえのプロフィール

1980年 東京都大田区生まれ。現在43歳
1998年 作新学院高等学校英進部英進科卒業
2000年 昭和女子大学短期大学部国語国文学科卒業
2019年～佐倉市議（1期目）
【勤務経験】システム開発会社、鉄鋼メーカー
【主な市民活動】
元生活クラブ生協佐倉ブロック運営委員

教師不足の対策に取り組みます

佐倉市でも一部の学校で先生の欠員が続いています。



始業式に担任の先生
がいない事態も！

教務主任や音楽など
の専科教員が担任に

担任が度々変わり子ども
たちに落ち着きがなくなる

そもそも教師の仕事が忙しすぎて、なり手が激減しています。

昨年度の千葉県教育委員会の調査では

- ◆時間外労働の上限「**月 45 時間**」を超える教諭 **42.4%**
- ◆過労死ラインの「**月 80 時間**」を超える教諭 **8.3%**



小学生の子どもを持つ親として、松島こずえは提案します！

- ◆千葉県に「教師の待遇を改善し定数を確保するよう」要望します。
- ◆佐倉市の負担でヘルプ教員を加配し、担任の欠員が出れば県の本採用へ。
- ◆教師の負担を減らすため、事務作業担当のサポートスタッフを増員。

実現
させます！

高齢者福祉 年を重ねる、笑顔も重ねる

在宅介護の切り札 小規模多機能ホーム

- ◆通い ◆訪問介護・看護 ◆ショートステイ
- 3つのサービスを組み合わせた地域密着型サービスです。
一人ひとりに寄り添ったサービスを受けられるので、積極的に広めるよう、市に求めています。



介護保険は利用者の立場でサービスを実施し、
厳しい介護認定を見直します。

まちづくり・防災

- ◆民間主導のふるさと広場大改造計画を市民参加で見直します。
- ◆無駄な大型道路より、通学路・生活道路の整備を急ぎます。
- ◆広域災害に備え、遠くの自治体と応援協定を。

いのちを守る！

- ◆規制が緩められる新型コロナの感染再拡大に備え、重症化を防ぐ訪問診療体制を構築。
- ◆介護保険料・利用料の減免制度を創設します。
- ◆高齢者の足の便の確保を。

実現
させます！

値上げをSTOP!

- ◆水道料金の値上げを防ぎ、佐倉の地下水を守ります。
- ◆公民館利用料を無料に戻し、住民票手数料を下げます。
- ◆国民健康保険税の値上げを防ぎます。

環境・農業

- ◆有機生産者支援を進めます。
- ◆ソーラーシェアリングなど、耕作放棄地の活用を進めます。
- ◆佐倉から**90km**の東海第二原発の再稼働に反対し、再生可能エネルギーを進めます。

市民ネットワーク千葉県「食と農プロジェクト」リーダー
「水問題とハツ場ダムを考える千葉の会」幹事
「佐倉にオーガニック給食を！」署名運動実行委員
「小児甲状腺エコー検診 in 佐倉」実行委員
「ファイバーリサイクル佐倉」運営委員
「平和・立憲会議」会員
「福島原発震災情報連絡センター」会員
「せっけんの街」会員
佐倉市青少年相談員

【家族】夫と子ども（11歳、9歳）
【趣味】時代劇・昭和歌謡鑑賞、水泳、将棋観戦、鉄道

さくら・市民ネットワーク

〒285-0837 佐倉市王子台 3-5-13
TEL043-462-0618 FAX043-489-0797
e-mail news@sakura-siminnet.com



ホームページ